

管理技術ネットセミナーのご案内

(第13回 稼げるSE養成講座：正しいシステムづくり)



「導入しているシステムを上手く使いこなせていない」

「システムから新たな利益を生み出したい」

(在庫 20%、人件費 8%、材料費 1%を削減し、利益率を5割引き上げたい)

とお考えの方は、是非お読みください。

まえがき

企業内のシステム化に関する業務は、源流と呼ばれる工程での「①新商品・新サービスの創出」、それを支援する「②システム開発」と、できあがった「③情報システムの利活用」の3種類があります。

経営者に「貴社の情報システムはうまく活用されていますか？」と質問すると「高い開発費を払ったのに効果が今一つである」と答えが返ってくることが多い。

今回の「稼げるSE養成講座」では、この3番目の「情報システムの利活用」の能力の向上を図るための施策である「生産性向上」について学ぶ企画をご紹介します。

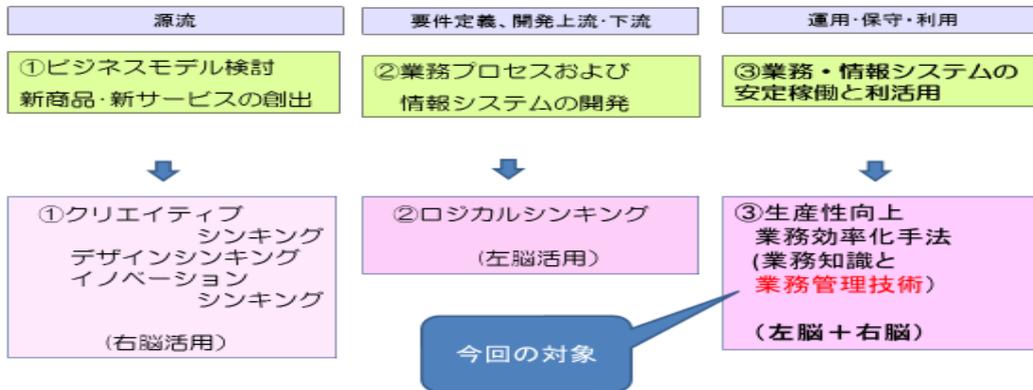
業務知識を知っているだけでは、情報システムを有効に活用して効果を出すことは出来ないで、今回の「業務管理技術」を習得し、諸問題を解決してほしいと願っています。

一般的に有効な情報は知りたいが「出張費が高い」「時間が取れない」などとの問題を抱えておられる方のために「GoogleのHang Out」を活用して、各社の会議室で学ぶことができる方法を採用しました。

なお、このためのネット関連の準備作業は難しくありませんが、必要ならば支援します。

■企業では3種類の技術・能力が必要（業務担当者は特に業務管理技術が必要）

企業の業務は、新商品・新サービスの創生、システム開発力の強化、活用・運用の効率化、精度向上の3種類ある。各フェーズで頭の使い方が異なるし、発想の仕方も変わる。

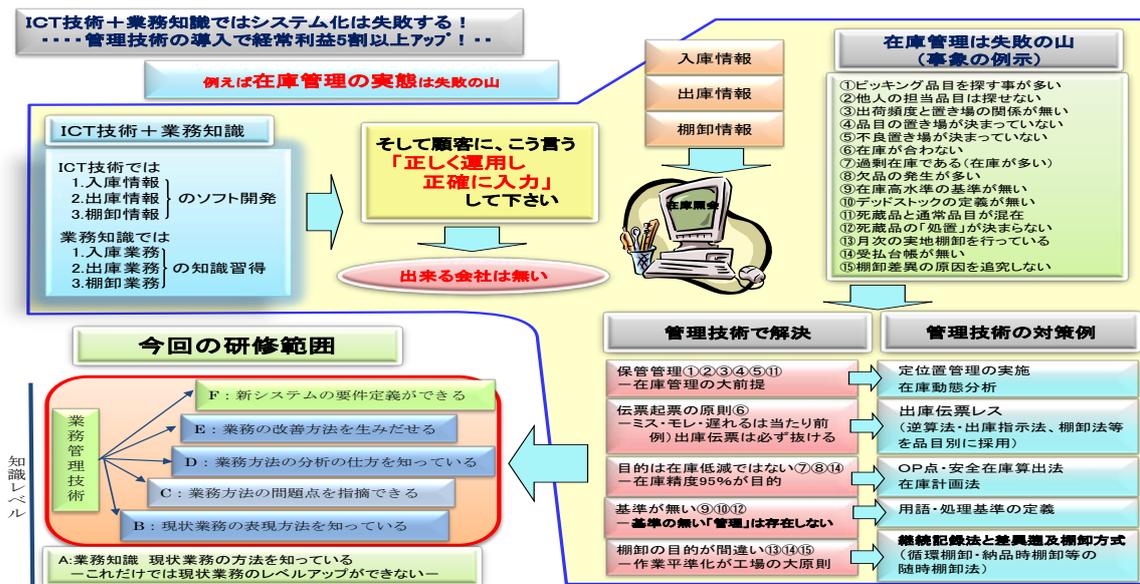


1：今回の「養成講座」の範囲（別添付P 2の「本講座の特徴」を参照）

業務知識を知っているだけでは、現在使用している情報システムの改善はできません。自社の業務の実態を知っておられる方が、以下の項目を学んでいただければ、現状業務の表現方法を知る事が出来る。更に、業務方法の問題点を指摘ができる。また、業務方法の分析方法を知る事が出来る。継続すると業務の改善方法を生み出せることに結びつきます。これは新システムの要件定義ができることの前提になります。

■業務管理技術の必要についての例（在庫管理の課題と改善方法）

本「養成講座」の中で在庫管理の精度向上についての内容をご理解いただけます。



©2017 備管理技術ラボ All Rights Reserved

2：この「養成講座」を学んで頂きたい方（実務経験 3 年以上の方）

(1) 業務に携わっている方

製造業の生産計画、資材管理、購買管理、在庫管理、工程管理、出荷管理、品質管理、原価管理などの計画策定に携わっている方には、是非とも学んで頂きたいのです。

(2) 生産管理システムの開発、保守、運用に携わっておられる方

「まえがき」でも触れましたが、企業内のシステム化に関する業務は3種類あります。従来は②のシステム開発が中心でしたが、真に顧客に開発した情報システムを有効に活用して頂くためには、この③の情報システムの利活用能力の向上が必要になります。この「管理技術（養成講座）」は業務効率化に直結する内容になります。

この分野の知識を持った会社が今後世の中で活躍の場が広がる事を期待します。

3：養成講座内容

第13回「稼げるSE養成講座」のカリキュラムは別添をご覧ください。

「GoogleのHang Out」を準備いただいた上で、6月～10月まで「(補講) +12回」にわたって、毎週月曜日の14時から17時まで休憩を挟み、まるで東京の教室で受講されておられる感覚で、講師の話を聞き、質問し、演習を実施していただきます。ツールの制約からMax全国5箇所で同時受講となります。

1台の端末を原則2人でお聞き頂くことをお勧めしますが、会議室などで何人お聞き頂いても構いません。受講内容のパワーポイント資料に加えて話の内容を声で送付いたします。皆様方各社の受講状況も講師に見えるようになっています。

なお、受講時に使用する必要な資料は「(株)管理技術ラボ」からお送りします。

5：必要な環境（ご用意願います）

- ①パソコン・インターネット環境
- ②マイク内蔵型のWEBカメラ
- ③スピーカー又はイヤホン
- ④Googleのハングアウトのインストール
- ⑤Windows8以降のOS（クアッドプロセッサ）
- ⑥3.2mps/4.0mbps（上り/下り）の高速ブロードバンド環境

※事前接続テストを「(株)管理技術ラボ」と確認をお願いします（必須）。

6：講師（講師略歴）

全国の製造業を中心に 700 社の「BPR（業務再構築）を実施された「八木弘泰（㈱管理技術ラボの取締役社長）」講師ほか、各分担の適任者が講師となります。

「情報システムを入れたが役に立たない」と言われていた企業を、見事有効活用に結びつけた経験を持っている講師達です。

なお、ABC 協会の細川泰秀（副会長）も最初と最後に挨拶致します。

7：受講料

各社 1 人当たり「(補講) +12 回分」合計で 10 万円（税別）

振込に関しては「ABC 協会」の事務局に問合せ下さい。 sem@abc-a.jp

8：助成金について

本「養成講座」は厚生労働省の「人材開発支援助成金」対象になることを計画しています。各申し込みの企業様から申請いただくこととなりますが、助成対象になれば半額程度の助成金が受けられます。（ご参考）過去の受講者の 96%以上が助成金の対象になっています。

■助成金の「申請方法」について

厚生労働省のHPにある「**人材開発支援助成金**」で確認して下さい。

■

URL http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

■申請について : 養成講座「**開始1ヵ月前まで**」に申請する事が要件になります。
(5月18日(金)の募集締め切りを厳守して下さい)

●養成講座内容及び助成金申請に関する問合せは「㈱管理技術ラボ」社にお願いします。

電話：0798-77-2667 メール：asguide@kan-lab.com

9：養成講座の申込方法および申込書

サイトにてお申し込み手続きをお願いします。申込締め切りは 5月18日(金)までに申し込みをして下さい。 (注) 先着受付です(今回は Max5箇所)。

【連絡先】

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会（通称：ABC協会）

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-7-11

アイオス五反田アネックス 601 電話番号 03-6277-2055

細川泰秀 hosokawa@abc-a.jp 井上元雄 inoue@abc-a.jp

※講師派遣・養成講座に関しては「㈱管理技術ラボ」社に委託しております。 以上

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

| 回数 | 日程 | 講座名 | 教育内容 |
|----|------------------------------------|--|---|
| 補講 | 6/11 (月) 14:00 ～ 17:00 | 1. 事前準備 (重要) 受講企業内で受講企業が受講者に受講の目的を伝える 2. 「製造業の役割と仕組」 | 1、今後の事業目的と教育訓練 (受講企業の方針) ー受講者の「目的意識」が教育効果を飛躍的に上げます。御社の受講目的を明確に受講者にお伝えください (受講企業毎に実施ください) 2. 受講者のレベルに応じたカリキュラムのカスタマイズ。(方法は事前にご相談します) |
| 1 | 6/18 (月) 14:00 ～ 17:00 | キックオフ 特別講演 (細川先生登壇による) 管理技術による利益の獲得 | 1、開講にあたって (心構、目的、受講姿勢) 2、受講者の自己紹介 1、顧客利益に貢献するSE像 1、管理技術による利益の獲得 |
| 2 | 6/25 (月) 14:00 ～ 17:00 | 1. 管理技術の「仕組」から見た製造業 2. 実在企業のビジネスフローによる製造業の「業務知識」 | 前回テーマの続き 管理技術が以下に企業に「利益」をもたらすか、それを担うSEの役割を認識頂きます。 受注から工場内の処理手続き・生産・出荷までのビジネスプロセスを、産能大式業務フローを見ながら製造業に実態を認識します。 |
| 3 | 7/2 (月) 14:00 ～ 17:00 | 在庫管理の業務知識と管理技術及び事例 | 在庫管理の業務知識 1. 入出庫業務 2. 棚卸業務 3. ビジネスプロセス 在庫管理の管理技術のポイント 1. 在庫管理の目的と位置付け 2. 倉庫の定義 (原材料、工程、倉庫別) 3. 出庫認識 4. 出庫指図・実績・出来高入力と品目移動 5. 棚卸の目的・方法・差異処理 |

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

| 回数 | 日程 | 講座名 | 教育内容 |
|----|------------------------------------|------------------------------|---|
| 4 | 7/9 (月) 14:00 ～ 17:00 | 工程管理の業務知識と管理技術 及び事例 | 工程管理の業務知識 1. 作業指図 2. 作業割当 (ディスパッチング) 3. 作業報告と作業指導 4. 進捗管理と再計画 5. ビジネスプロセス |
| | | | 工程管理の管理技術のポイント 1. 工程管理の目的と位置付け 2. 製造計画の検証、指図書の発行 3. 製造指図の方法(一括指図、前工程完了時指図) 4. ディスパッチング 5. 実績把握の課題と作業指導 (PAC) |
| 5 | 7/23 (月) 14:00 ～ 17:00 | 購買外注管理の業務知識と 管理技術及び事例 | 購買外注管理の業務知識 1. 購買先・外注先とは 2. 注文書、納入指示とは、注文書と下請法 3. 受入業務と入庫業務 4. 分納、完納及び会計処理 5. ビジネスプロセス |
| | | | 購買管理の管理技術のポイント 1. 購買管理の目的と位置付け 2. 納期管理と手配残棚卸 3. 注文書、納入指示 4. 受入、分納、仕訳、入庫処理 5. 事例 |
| 6 | 7/30 (月) 14:00 ～ 17:00 | 生産計画の業務知識と管理技術 及び事例 | 生産計画の管理技術のポイント 1. 生産計画の目的と位置付け 2. 計画の絶対条件と累計リードタイム 3. 生産計画と日程計画 (大中小) 4. 立案源泉と検証方式 |
| | | 資材計画の業務知識と管理技術 及び事例 | 資材計画の管理技術のポイント 1. 資材計画の目的と位置付け 2. 独立需要と従属需要 3. 資材計画の種類と論理 4. 資材特性と資材計画の種類 5. ビジネスプロセス |
| 7 | 8/6 (月) 14:00 ～ 17:00 | BOM (部品表) の業務知識と 管理技術及び事例 | 部品表管理の管理技術のポイント 1. 部品表管理の目的と位置付け 2. ストラクチャ部品表 3. 品目と構成 4. 原単位、仮想部番、制御断面、結合部品表 5. 仕様展開 6. ビジネスプロセス |

[稼げるSE養成講座]カリキュラム

| 回数 | 日程 | 講座名 | 教育内容 |
|----|-------------------------------------|---|--|
| 8 | 8/27 (月) 14:00 ～ 17:00 | 受注出荷管理の業務知識と 管理技術及び事例 | 受注出荷の管理技術ポイント 1. 受注出荷管理の目的と位置付け 2. 受注情報の要件 3. 出荷情報の要件 4. 緊急出荷、納期回答、出荷指図 6. ビジネスプロセス |
| | | ICTを利用した生産管理の 標準事例 | ICTの事例を学習ライブラリを使用して、受講者各自 で実感して頂きます。 |
| 9 | 9/3 (月) 14:00 ～ 17:00 | 品質管理の業務知識と 管理技術及び事例 | 品質管理の管理技術のポイント 1. 品質管理の目的と位置付け 2. 試験検査の意義と種類 3. 試験検査の日程化 4. 採取・試験検査、先行サンプル 5. 試験成績書・出荷承認・ロット廻り 6. ビジネスプロセス |
| | | 財務会計の手ほどき | 1. 苦手な財務会計の手ほどき 2. 財務会計と販売管理 3. 財務会計と生産管理 |
| 10 | 9/10 (月) 14:00 ～ 17:00 | 原価管理の業務知識と 管理技術及び事例 | 原価管理の管理技術のポイント 1. 原価管理の目的と位置付け（目的と財務会計） 2. 定義（定義・材料・労務・経費） 3. 標準原価計算による原価の仕組み |
| | | | 原価管理の管理技術のポイント 4. 許容原価とは 5. 原価計算と生産管理（何が問題か？） |
| 11 | 10/1 (月) 14:00 ～ 17:00 | 学習ライブラリと「まとめ」 | 1. 生産管理の事例（ICT機能とマンフロー） の理解。ICTと人の役割をイメージする。 （生産計画の立案、MRP他を演習） 2. 管理技術のまとめ |
| 12 | 10/15 (月) 14:00 ～ 17:00 | 1. 分析・設計・定着化・効果 測定技術の概要 2. 特別講演（細川先生登壇） 3. 管理技術塾の次STEP | 1. ASGUIDEの現状分析技術の概要 1) 問題点の棚卸「現状分析の手法」 2) ルーティンワークの設計「基本設計の手法」 3) 例外処理と人の行動設計「詳細設計の手法」 4) ノウハウの科学化「データ構築の手法」 5) 設計通りに運用しない「定着化の手法」 6) 経常利益5割UP「効果の測定手法」 7) コンサルタントが持つべき「姿勢・心」 2. 継続的な自己啓発の考え方 3. 管理技術塾の次ステップについて |



稼げるSE養成講座

～儲けるための「正しいシステムづくり」～

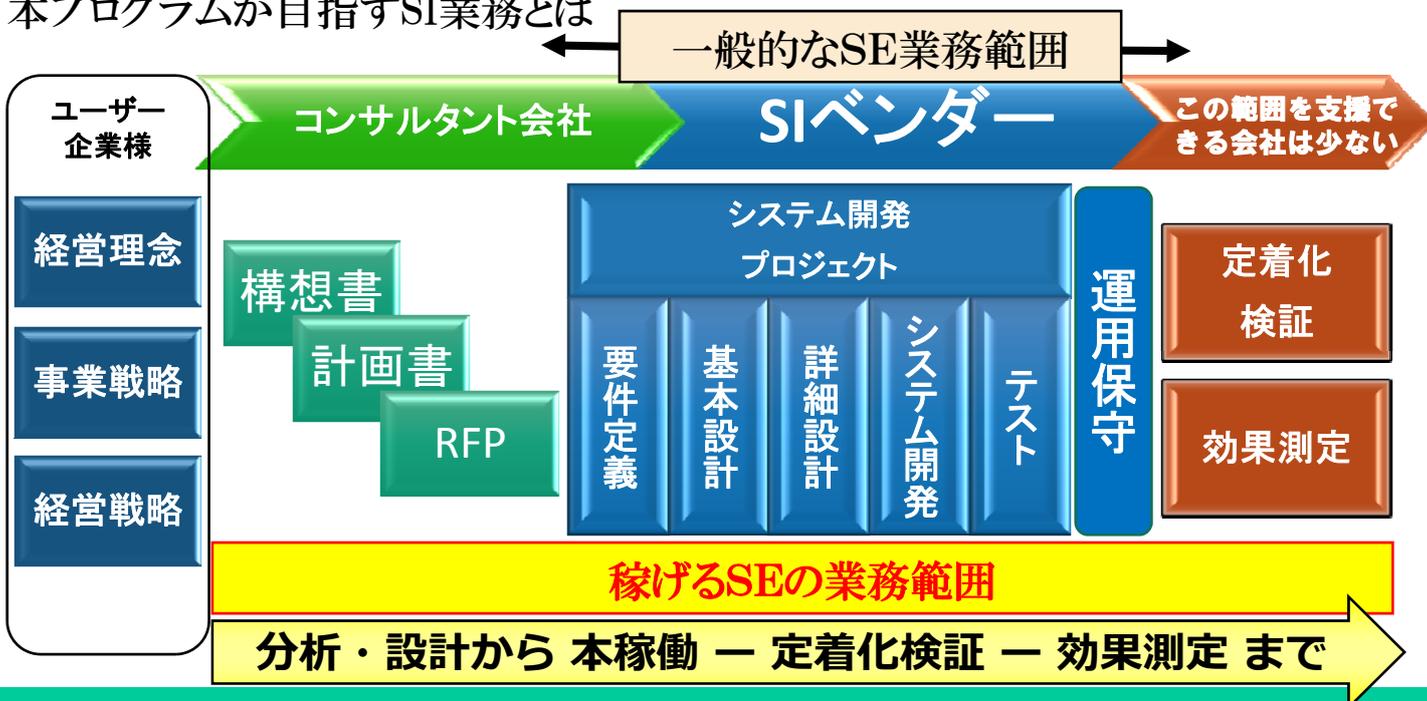
製造業システムSE向け、業務部門のキーマン向け

業務システム活用で「在庫20%・人件費8%・材料費1%」削減し利益率5割UPを実現する方策を学ぶ！

受講対象者 (基本情報技術者程度の技量を有する方、及び、実務経験3年以上のSEを前提とします。)

- ・「御用聞きSE」では、工数ばかり掛かって、儲からないと感じている方。(提案がなく、顧客の不満大)
- ・ICT技術では、問題解決が出来ていないと、モヤモヤしている方。
- ・業務知識は取得したが、顧客に解決策の提案が出来ない方。
- ・要望通りのシステムを開発したのに、せっかくの「機能」を顧客が、運用出来ていないと感じている方。
- ・システム導入の効果を明示したいが、その方法・手順がわからない方

本プログラムが目指すSI業務とは



日時・開催方法

日時 : 2018年6月18日-2018年10月15日 毎週月曜日 全12回 14:00~17:00 (別添のカリキュラムを御参照下さい。)

方法 : TV会議方式オンラインセミナー (定員5社 限定)

受講料 : 10万円(税別) / 人 (「厚生労働省人材開発支援助成金」の対象講座。(後述参照))

申込締切日 : 2018年5月18日(金曜日) 助成金申請のため締切日遵守ください(申請手続きは、お手伝いします)

本講座の開講目的

弊社は「製造業の競争力強化」を社是としております。

製造業においてはERP(生産管理パッケージ)の導入が盛んです。しかし、導入企業の9割以上が「失敗」に終わり、投資金額と投入時間の無駄が続いています。

「失敗」とは、コンピュータは動いているが「利益」に繋がらない状態を言います。

この解決には「御用聞きSE」から「管理技術を習得したコンサルSE」が必要です。

本講座は、これに正しい「解」をご提供いたします。

塾長 八木 弘泰

[本講座の特徴] ~標準化の実務演習が大人気~

「実際原価」は
ウソの原価です！



リアルタイムで質問も出来る
“双方向型”の「塾」です。
移動時間も不要！

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能
(Googleハングアウトを使用)
※双方向対話型講習と商談サポート実現の為、
[5社限定] の募集となります。

演習で実感してみませんか？

以下の演習を通じて「管理技術」を習得できます

作業標準演習

工程管理の基本である
作業標準・標準時間の
設定を作業分析ソフト
を使用して特定品目の
設定を演習します。

保管管理演習

保管管理が不備では在庫
管理は出来ない。御社の
倉庫を対象にロケーション
を演習で設定します。

原価チャージ演習

「時間当たり単価」の設
定が出来てない企業が
多くなっています。御社
のチャージ(賃率)設定
の演習をします。

「受講プログラム詳細」

工場の仕組みから、生産管理の
ビジネスプロセス、業務・業態知識まで
を学びます。

業務知識

分析・設計知識

分析・設計・定着化・効果測定技術を認
識し「業務再構築の本質」を学びます。

業務再構築(BPR)は「ICT技術」と「業務知
識」を習得しても実現出来ません。
「業務毎の正しい目的・方法・手順」(管理
技術)を基礎から学び、BPRを実現します。

原理原則編

業務知識編

原理原則編で学んだ「管理技術」の応用編
演習中心。実務設計を学び顧客の抱える
問題点を解決する具体的な
IT設計+管理技術設計を学びます。

事前サポートサービス(必要時)

1. 必要機材の無償貸出 2. 事前接続テスト の実施

ご用意頂く物：

1. パソコン、インターネット環境 (御社で御準備願います)
2. マイク内蔵型のWEBカメラ (無償貸与致します)
3. スピーカー又はイヤホン (無償貸与致します)
4. Googleハングアウトのインストール (無償サポート致します)

推奨要件：・クアッドコアプロセッサ Windows8以降のOS
・3.2mbps/4.0mbps (上り/下り) の
高速ブロードバンド環境



一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会